

- ② 40年都内数カ所一般食堂の勤労者昼食調査。
- ③ 41年都内七カ所の百貨店食堂の料理栄養価。
各々料理を持ち帰り秤量し栄養価を算出し、価格との関連と喫食者の嗜好との関係を調べた。
3. つぎのような成果をえた。第一回調査では約482 Cal, 16.9 g, 金額53円程度であった。第2回調査は、金額約150円かけるのが半数以上である。これは食材料の値上りと、人件費などの高騰からきたもので実質的には必ずしも熱量、蛋白質は増えていない。41年度は各百貨店の料理は約40種で平均価格は約140円であり、約600 Cal, 蛋白質約20gであった。

A-51 都市における外食の研究

大妻女大 ○前川 当子
渡辺 和子

1. 本研究は、家庭の食生活と関係の深い都市生活者の外食に関する調査である。「家計調査における都市勤労者の外食費は、昭和28年では1人当たり70円程度であったが38年では約300円となり10年間で約4倍に達した。」この数字も事実よりは過少であるといわれている。家庭における食生活が最低限度の健康の確保ということから一層進んで、食事楽しさの要素を加味する傾向になり生活一般に慰楽教養的要素の要求が強くなってきている。それらが原因して外食の機会が多くなり家庭の食生活の一部を受け持つ傾向になってきた。筆者は栄養管理上外食に関心を持っているので数年来種々の調査を行っているのでその結果を報告する。

2. 調査の方法は、年次的に調査の目的とその対象を変えて諸々の角度から観察した。

- ① 34年都心の一般外食店の料理と栄養価。